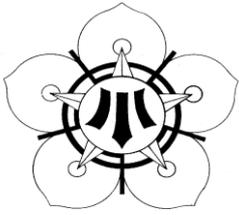


地域と家庭と学校が一つになって子どもを育む…それが“チーム七小”です！

福生市立福生第七小学校
令和6年度 学校だより



くさぶえ

福生第七小学校
ホームページ

URL

<https://fussa-7e.hs.fussa.school/>



所在地 福生市北田園一丁目1番地1

発行責任者 校長 山岸 史子

令和6年12月25日 発行

人が喜んでくれると自分も嬉しい

校長 山岸 史子

子どもたちがわくわくしている日、楽しみで他の人に伝えずにはいられない様子が見られる日が、1年に何日かあります。朝、校門に立って挨拶を交わしていると、自分の誕生日について語るのもその一つです。何か特別にプレゼントをもらうことがクローズアップされがちですが、どんな形であれ、自分が家族や仲間へ愛され大切にされていることを再確認する日であることが、その理由ではないかと思えます。目を見て満面の笑顔で「お誕生日、おめでとう」と言ってくれる人がいる…。それだけでずいぶん大きなプレゼントであり、大きな喜びだと思います。

今年度の50周年の七小バースデー集会をはじめ様々な場面で、子どもたちが七小に向けて感謝やお祝いの気持ちを伝えてくれているのは、ご家庭での体験が生きているのでしょう。ご家族で子どもたちにしてくださっているように、人のことを自分のことのように思い、お祝いすることで喜んでほしい…。子どもたちは素直に、より良いことの真似をしながら学び成長します。

12月20日土曜日に、PTA主催の50周年記念「親子☆縁日」が開催されました。本部役員の方々が親子でも楽しめるように、七小の子どもたちの良い思い出になるようにと企画・準備をしてくださった8つの楽しい遊びの屋台には、お店屋さんとして多くの保護者の皆さんと子どもスタッフが、心からのおもてなしで、楽しい時間をプレゼントしてくれました。どこのお店も大行列。大勢の子どもたちが目を輝かせて、スタンプカードを頼りにすべてのお店を回って楽しんでいました。お気に入りのお店を見つけて何回も何回もチャレンジしていた子も多く見られましたが、景品ではなく記録に挑むことを心行くまで楽しんでいました。その粘り強さに驚くとともに、そのチャレンジに何度も付き合い、応援してくださるスタッフの皆さんにも、頭が下がる思いでした。



お店のスタッフとして活躍してくれた子どもたちとお客さんである子どもたちのやり取りも、心温まるものでした。人を喜ばせたい思いで一生涯懸命働いてくれた子どもたちは、きっと宝物の一つを得ることができたことでしょう。十分に楽しんだ子どもたちは、次は自分が楽しませる側になろうと頑張っていることでしょう。学校だけでなく、地域や家庭でも機会が作れるといいです。縁日スタッフとして関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

年末年始の時期も子どものわくわくが止まらない季節の一つです。それだけにきっとお楽しみだけでなく、家族や社会の一員としての役割もしっかり教え、成長させるチャンスでもあります。子どもたちが様々な人と関わり、相手を思い、相手を楽しみ幸せな気持ちにさせられる年末年始であることを願っています。